第621事態即応中隊、730AMSと運用力強化

621CRS works alongside 730 AMS

August 19, 2016

Original text by Yasuo Osakabe
374th Airlift Wing Public Affairs

第621事態即応中隊の航空整備士12人が横田基地を訪れ、8月16日、有事の作戦に使用されるさまざまな航空機の運用力強化訓練を行った。

1

（写真1）カリフォルニア州トラビス空軍基地から飛来したC-5Mスーパーギャラクシー。1986年7月に米空軍に導入され、約21，975時間の飛行歴を持つ。

2

（写真2）横田基地の駐機場でC-5Mスーパーギャラクシーの飛行前確認を行う第621事態即応中隊のメンバーたち。同中隊はクルーチーフを横田基地に派遣し、第730航空機動中隊の隊員たちと共にさまざまな航空機の運用力強化訓練を行った。

第730航空機動中隊は、C-5、C-17Aグローブマスター III、KC-135ストラトタンカー、KC-10Aエクステンダーほか民間機の運用を頻繁に支援している。

3

（写真3）異物混入による航空機の損傷を未然に防ぐため、滑走路上を歩いて目視確認する第621事態即応中隊のクルーチーフたち。